

Volume 005

男たちよ

目覚めなさい

Theme

裸身より裸心

イラスト／ユリコフ・カワヒロ

み

なさま、ごきげん

よう。

この原稿が掲載される頃にはもう上映が終わっているかと思いますが、「マチネの終わりに」という映画を観ました。福山雅治と石田ゆり子が、6年間にたつた3

回しか会っていない40代の男女の心の動きを繊細に演じて、日頃は洋画派の私も想に反して引き込まれました。原作は作家の平野晋一郎で、原作の台詞なのか脚本家の手腕なのか定かではないですが、ハツとさせられる台詞がありました。

チロで同僚を目の前で失ったジャーナリストの小峰洋子（石田ゆり子）が、ギタリストの藤野聰史（福山雅治）とスカイプで会話をするシーンです。ぐつたりと疲れた風情でショックを語る洋子に対し、聰史は「おつかつたですね」と声をかける。同僚を失った洋子の悲しみに寄り添う、良識的なひと言ですね。

- 鮮烈な空間は、ここが原宿のど真ん中であることを忘れさせます。
- 料理名は「ツブ貝 赤貝 ハマグリ コキヤージュのエキューム 雷葉 豆菜花 サフラン」、食材を詠んだネーミングに心が躍ります。

■ 純白のコックコートに身を包む信太竜馬さん。予約困難店となる前に、ぜひ。

Data 「elan(エラン)」 住所／東京都渋谷区神宮前5-10-1 GYRE 4F
☎03-6803-8670 営業／18:00～21:00(L.O.) 水曜休



それに対し、洋子は何と答えたのか。「わたしでなくてよかつた、と思つたの」

状況によつては、なんとエゴイストイックな女なのだとバッシングを受けるでしよう。

しかし、洋子は聴史に対し、心に生じたありのままを率直に語つているわけです。良い人に見られたいとか、明るい会話をしなければという世間的な常識の鎧を脱ぎ捨て、言わば相手を信頼して心を裸にすることによってしか出てこない台詞といえましょう。

不意に差し出されたこの「裸の心」に、聴史が戸惑い、同時に心を射抜かれたことが表情から伝わってきます。次に会う時、聴史は情熱的な愛の告白をするのです。

このシーンの教訓は、人の心を揺んで離さないのは、あな

ただけに。不意に差し出され

た「裸の心」であるということ。

それは時に、世間の常識の対極にいるリスクをともないます。だからこそ、その価値を理解し、受け止められる

相手であれば、そこからふたりだけの物語が始まるのでしょうか。この場合は、女性のほうが「裸の心」を見せました

が、男性でも同じです。

もちろん當時「裸の心」を見せられると、相手もげんなりしてしまいます。それはただの野蛮人というもの。今人

りに身なりを整えて、自分の最高のヴァージョンで隣にいたいと思う相手であるからこそ、ココゾの時に心を裸にする勇気が必要なのです。相手

が一瞬裸心を見せたら、それが敏感に察知する感覚性も研ぎ澄まされねばなりません。相手の服を脱がせることばかりを考えている男性は非常に多いのですが、まずはリスク覚悟で心の鎧を脱ぐ・脱がせる」とが、ふたりの関係を親密にする秘訣であるということに、「目覺めなさい」

BEST OF CULTURE & ENTERTAINMENT

LEON Journal

Culture & Entertainment Column



Profile

グローバル化が進む社交界
事情にも通じる。密かな
趣味は人間観察とコスプレ。
好きな飲み物はモンラッシュ。
日本ではほとんど
知られていない、ある小国の
女王とのウワサも!?



カトリーヌ10世
Catherine X